**・コマンド履歴を削除する(　history 　–c　)**

**●実習８－１．簡単なシェルプログラミング**

（１）「現在ログインしているユーザ名を表示する」というスクリプトを作成しなさい。

　　「ユーザ名(クラス名番号)」の部分は「whoami」コマンドを利用する。

　　　ファイル名・・・kad08\_1.sh

　◆実行結果

|  |
| --- |
| ie2a99@ie2a99:~$ bash kad08\_1.sh  Login user name is ie2a99. |

（２）変数「x1」に「Login user is」、「x2」に「Default shell is」、「x3」に「Current directory is」

　を代入する。定義された変数「USER」(ログインユーザ名)と「SHELL」(デフォルトのシェル)、「pwd」コマ

　　 ンドを利用して次のような表示を行うスクリプトを作成しなさい。

ファイル名・・・kad08\_2.sh

　◆実行結果

|  |
| --- |
| ie2a99@ie2a99:~$ bash kad08\_2.sh  Login user is ie2a99.  Default shell is /bin/bash.  Current directory is /home/ie2a99. |

**●実習８－２．条件分岐・ループ他**

**（１）標準入力から値を取得し、入力値が「y」または「Y」であれば「OK」と表示し、「n」または「N」であれば**

**「NG」、「y」で「n」でもなければ「yかnを入力してください」と表示するスクリプトを作成しなさい。ただ**

**し、if文で作成すること。**

**ファイル名・・・kad08\_3.sh**

**◆実行結果**

|  |
| --- |
| **ie2a99@ie2a99:~$ bash kad08\_3.sh**  **Input y or n:**  **y**  **OK**  **ie2a99@ie2a99:~$ bash kad08\_3.sh**  **Input y or n:**  **n**  **NG**  **ie2a99@ie2a99:~$ bash kad08\_3.sh**  **Input y or n:**  **b**  **Please input y or n.** |

（２）引数で指定したファイルをbakディレクトリに拡張子「bak」を追加して保存するスクリプトを作成しな

さい。指定されたファイルがなければコピーはしない。for文を使用する。

　 <例>kad08\_1.sh →　kad08\_1.sh.bakという名前でbakディレクトリへコピーする。

＊元のファイルはそのまま残すこと。  
　 ＊ファイルが存在の確認はtestコマンドを使用する。　<ヒント>if test -e ファイル名  
 　 ＊「bak」ディレクトリはスクリプト実行前に作成しておくこと。

ファイル名・・・kad08\_4.sh

　◆実行結果

|  |
| --- |
| ie2a99@ie2a99:~$ sh kad08\_4.sh test01.sh kad08\_1.sh kad08\_2.sh kad08\_3.sh  test01.sh is not found.  kad08\_1.sh copy to bak directory.  kad08\_2.sh copy to bak directory.  kad08\_3.sh copy to bak directory. |

**●実習８－３．正規表現**

**（１）**.標準入力から値を取得し、表示を変えるスクリプトを作成しなさい。

　・入力値

　　　「c」または「C」を入力　・・・　「CentOS」と表示

　　　「u」または「U」を入力　・・・　「Ubutnu」と表示

　　　「c」、「u」以外の文字を入力　・・・　「RedHat」と表示

**ファイル名・・・kad08\_5.sh**

**◆実行結果**

|  |
| --- |
| **ie2a99@ie2a99:~$ sh kad08\_5.sh**  **c**  **CentOS**  **ie2a99@ie2a99:~$ bash kad08\_5.sh**  **U**  **Ubuntu**  **ie2a99@ie2a99:~$ bash kad08\_5.sh**  **a**  **Red Hat** |

**●実習８－４．関数**

（１）シェル関数を用いて次のような課題を作成しなさい。

　・引数で指定したファイルをbakディレクトリに拡張子「bak」を追加して保存するスクリプトを作成する。

　　指定されたファイルがなければコピーはしない。

　＊引数のファイル名の拡張子は指定しないこと。

　・関数名

1. dir\_exists・・・保存するディレクトリがあるかどうか判断し、なければ作成する関数

　　 ②file\_bkup・・・ファイルを指定された場所へコピーする関数

ファイル名・・・kad08\_6.sh

◆実行結果

|  |
| --- |
| ie2a99@ie2a99:~$ sh kad08\_6.sh test kad08\_1.sh  bak direcotry is exists.  test is not found.  kad08\_1.sh is copied to bak. |

**mi●実習８－５．提出準備**

①　作成したシェルプログラミングのファイル(kad08\_1.sh ～kad08\_6.sh)をcatコマンドで表示してコ

　　ピー、クライアント側(Windowsほか)でペーストしてファイルを保存しなさい。保存するファイル名はクラス

　　名番号kad08\_X.sh。

②　Tera Termをいったん終了して、本日のログが記録されているか確認する。

　　　ファイル名：クラス番号日付.log

**●課題提出**

**作成した6つのファイル（shファイル、クラス名番号日付.log）を「演習08\_クラス名出席番号名前」フォルダを作成して保存し、sv23へ提出しなさい。**